

立民県連 安住氏に抗議

発言撤回要求 「党政策と整合性なし」

立憲民主党県連は21日、安住淳幹事長が名護市辺野



立憲民主党の安住淳幹事長の発言に抗議する文書を発表する同党県連の(左から)仲村未央副代表、喜友名智子副代表。21日、県議会

古の新基地建設を巡り「新党の中道が 政権を担うことになれば、ストップすることは現実的ではない」と発言したことに抗議したと発表した。発言の撤回を求める文書を20日付で野田佳彦代表宛てに提出した。

要請文は、立憲の政策が沖縄の民意を尊重し辺野古工事の中止を掲げていると強調し、安住氏の発言は「党政策とまったく整合性がない」と批判。発言を撤回し、立憲として辺野古中止の方針に変更がないことを正式に表明するよう要求した。中道でも同じ方針を堅持するよう求めた。

補者の当選が必要と説明。「候補者の政策に盛り込まれれば、そこを通じて新党

の政策に影響力を与える。これに尽きる」と述べた。(政経部・銘刈一哲)